

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

子宮内膜症と卵巣がん

寺 川 直 樹

(石井記念愛染園付属 愛染橋病院 院長)

2008 年より大阪市西区の日本生命済生会付属 日生病院院長を 5 年間務めて本年 6 月に定年退職したのち、7 月から愛染橋病院院長を務めております。

医師会長の佐久間先生をはじめとして、当院がお世話になっています浪速区医師会の先生方にはどうかよろしくお願い申し上げます。

私は日生病院に赴任するまで、卒後 19 年間を大阪大学産婦人科学教室と関連病院で、続いて 18 年間で鳥取大学教授として診療と研究に従事してきました。

専門領域はホルモンと癌、なかでも子宮内膜症研究をライフワークとし、日本エンドメトリオーシス学会代表理事や世界子宮内膜症会議の理事を務めています。

そのようなことから、ここでは、日本産科婦人科学会で 2007 年度から私が研究代表者となって進行中の「本邦における子宮内膜症の癌化の頻度と予防に関する疫学研究 (Japan endometrioma malignant transformation study: JEMS)」を紹介させていただきます。

本研究は世界で初めての前方視的研究であり、文科省科学研究費補助金 基盤研究 (A)「子

宮内膜症の癌化とその対策—前向きコホート研究と分子生物学的研究によるアプローチ—のもとでスタートしました。

1) 子宮内膜症と卵巣がんの疫学

子宮内膜症とは、月経周期を有する女性において、子宮内膜に極めて類似する組織が腹膜や卵巣など骨盤内で異所性に発生し、増殖する疾患です。

子宮内膜症は生殖年齢女性のおよそ 10% に存在しますが、疼痛と不妊を主症状とすることから女性の QOL を著しく損なう疾患です。本症は良性疾患ではありますが、一方で、高い細胞増殖能や浸潤能を保有し、類腫瘍性格を持つこともその特徴です。

子宮内膜症女性 2 万人を対象とし、米国国立癌研究所が中核となって行われた疫学調査研究によると、内膜症を有する女性では、子宮頸がんや体がんの発生率には影響を及ぼさないが、上皮性卵巣癌の相対的罹患率は 1.9 と有意に高まることが示されている。

一方、不妊症が卵巣がんの危険因子であることは古くから知られており、教科書にも記載されている。



1万2千人の不妊症女性を対象とした彼らの一連の調査研究によると、不妊症のなかでも、内膜症に起因する不妊症患者において卵巣がん罹患の相対危険率は2.7と有意に高まることが明らかとなった。

このように、疫学的観点から子宮内膜症と卵巣がん発生との関連が示唆されている。

本邦において卵巣がんの罹患率は明らかに増加している。

多剤併用化学療法と分子標的治療剤の導入により予後の改善はみられるが、進行卵巣がんの5年生存率は今なお30 - 40%に留まっている。

上皮性卵巣癌の多くを占める漿液性腺癌については de novo 発癌が示唆されており、事実、発見癌の多くは癌性腹膜炎を伴う進行癌である。

一方、卵巣子宮内膜症（チョコレート嚢胞）からの癌化が知られているが、その大部分は嚢胞から緩徐に発生する明細胞腺癌と類内膜腺癌である。

明細胞腺癌は欧米に比して、わが国で著しく頻度の高いことがその特徴である。

2) 卵巣チョコレート嚢胞の癌化

子宮内膜症悪性化の診断基準を満たすには、卵巣腫瘍の病理組織で内膜症から腺癌への移行像を認めることが必要である。

今から90年前の1925年、米国の産婦人科教授 Sampson によって卵巣チョコレート嚢胞の悪性化が初めて報告されている。

その後、米国の大学病院婦人科病理医の2つのグループが極めて多数の卵巣がん病理組織標本を調べた結果、チョコレート嚢胞の癌化率を0.7% (6例/889例)、0.8% (8例/950例)と報告している。

卵巣がんの自然発生頻度はおよそ0.07%と推定されていることから、これらの数字は非常に高いと言わざるを得ない。

1995年当時、日本人女性において悪性化の

頻度を調べた成績は存在しなかったもので、私がお世話をしていた子宮内膜症研究会で、筑波大学の婦人科病理医の先生に附属病院開院以来の卵巣がん症例の検討をお願いした。

その検討成績は翌年の研究会で発表されたが、組織学的に確認できた卵巣チョコレート嚢胞147例から診断基準を満たす悪性化例、腺癌が1例、0.7%の頻度で存在したとの報告に私はとても驚いた。

ただ、時代を超えて日米から報告されたこれらの数字、0.7% ないし0.8% はあくまで後方視的に検討した成績である。

一方、日産婦学会の調査研究では、卵巣チョコレート嚢胞を有する30歳代女性では、3,450人のうち45人(1.3%)に、40歳代では2,362人のうち97人(4.1%)に卵巣がんの合併を認めている。

このように、内膜症の癌化例そのものではないが、加齢とともに卵巣チョコレート嚢胞と腺癌の合併率の増加が示されている。

したがって、卵巣チョコレート嚢胞の診療に際しては卵巣がんの合併に注意を払う必要がある。

3) 卵巣チョコレート嚢胞の癌化の前方視的疫学研究

本邦で頻度の高い卵巣明細胞腺癌の多くが、類内膜腺癌の少なくとも一部が卵巣チョコレート嚢胞に由来することが明らかにされている。

以上のような背景から、子宮内膜症の癌化の正確な頻度を明らかにするとともに、如何にして癌化を防ぐことが出来るかを知ること、は、産婦人科医にとって大きな命題であると考えに至った。

2006年にこの問題解決に学会を挙げて取り組むべきであるとの提案を行い、15年間に及ぶ研究計画書を日産婦学会理事会に提出した。そして翌年、理事会の承認のもとJEMSの研究班が組織された。

本研究の目的は、大規模な統計学的解析により、その登録集団において、①卵巣チョコレート嚢胞の正確な癌化率を算出し、②患者背景の解析からリスク因子を抽出し、③嚢胞摘出術による癌発生の予防効果を検索することである。

研究デザインは前向きコホート研究およびネステッド・ケース・コントロール研究からなり、具体的には、全国の産婦人科医療機関を受診した30歳以上の卵巣チョコレート嚢胞患者を対象に、5年間で4,500例を集積し、10年間の追跡調査を行うものである。

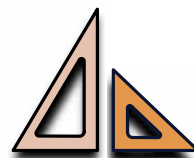
多数例を長期にわたって追跡する容易でない疫学研究であるが、その成果は大いに期待されている。

ただ、登録開始から4年を経た現在、集積数は2,000例台に留まっており、学会から全国の医療機関に多数の症例登録を依頼しているところです。

大阪産婦人科医会の先生方にもご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。



理事会報告



◎平成25年度9月定例理事会

日 時 平成25年9月27日(金)

午後8時～10時

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 60周年検討・実行・編集委員会の開催日について <佐久間会長>
開催日を総務会(毎月第2金曜日・午後2時)終了後に変更したい。

協議の結果、10月以降は総務会終了後に開催することとなった。

2. 職員の交通費について <佐久間会長>
職員へ支払う交通費のうち、バス代および2輪駐輪場代が支払われていなかったため、支給したい。

協議の結果、25年4月に遡って支給することとなった。

3. 第30回浪速区健康展に対する協賛金について <澤井副会長>
例年とおり、協賛の依頼があった。

協議の結果、協賛することに決定。

4. 60周年記念誌作成に係る協賛依頼の案内配付(分担)について <澤井副会長>
標記案内を配付するにあたり、分担を決めておきたい。

協議の結果、資料に沿って製薬会社ごとの担当を調整した。

5. 医師とケアマネジャーとの連絡会の開催

日程（11月2日〈土〉）と内容について
＜橋村理事＞
標記連絡会をこの日程で開催したい。

協議の結果、了承。
なお、場所は社会福祉協議会、時間は午後2時からの予定。

6. 「浪速区地域包括支援センターに関するアンケート調査」の内容確認と協力について
＜橋村理事＞
地域包括支援センターより、標記アンケート調査の依頼があった。

協議の結果、アンケートを実施する対象、配布方法など不明な点が多いので、確認した上で再度検討することとなった。

7. 社会保険講習会の開催日程について
＜橋村理事＞
標記講習会を開催したい。

協議の結果、了承。日程は11月末～12月中の水曜日か木曜日とし、府医と調整することとなった。

8. ブルーカードシステムのVPN移行について
＜久保田理事＞
現在は、シンクネル(株)のクラウドサービス「シンクネル」を利用しているが、よりセキュリティ性の高いVPNシステムに移行したい。VPNの契約先となる業者はウィンテックシステムズ(株)、移行に伴う初期費用、今後の月額費用は資料のとおりである。

協議の結果、VPNシステムに移行することに決定。

9. 在宅医療ネットワークのアンケートについて
＜金田理事＞
在宅医療の実施状況に関するアンケート

を実施したい。

協議の結果、了承。

10. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
（9月27日〈金〉） ＜佐久間会長＞
次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

- (1) 大阪府医師会役員等選挙の件
- (2) 学校における食物アレルギー緊急対応のための講習会開催の件
- (3) 特定健康診査における詳細な健診の実施にかかる周知の件
- (4) 新型インフルエンザワクチン等特別措置法に関する件
- (5) 10月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪市医師会連合会委員会について
（9月9日〈月〉） ＜佐久間会長＞
次第は次のとおり。

▷連絡事項

- (1) 住吉母子医療センター（仮称）基本構想の件
- (2) 大阪市障がい者等基礎調査における「高次脳機能障がいに関するアンケート」への協力依頼の件
- (3) 大阪市インフルエンザ予防接種の件
- (4) 大阪市ヒブワクチン予防接種委託料単価改定の件
- (5) 大阪市立保育所「食物アレルギーに関する生活管理指導表」の件
- (6) 平成24年度大阪市MRワクチン接種率の件

▷報告事項

-
- (1) 平成 25 年度第 2 回大阪市地域包括支援センター運営協議会（7 月 16 日）報告の件
 - (2) 大阪市障がい者施策推進協議会障がい者計画策定・推進部会（8 月 8 日）報告の件
 - (3) 大阪市障がい者施策推進協議会（9 月 3 日）報告の件
 - (4) 平成 26 年度大阪市予算の編成に対する要望（8 月 5 日）報告の件
（詳細 略）

3. 大阪市東部保健医療協議会について
（9 月 4 日〈水〉） <佐久間会長>
次第は次のとおり。

▷開会

▷議題

- (1) 大阪府保健医療計画の進捗状況について

- (2) 地域医療支援病院の申請について

- (3) その他

▷閉会

（詳細 略）

4. 60 周年検討・実行・編集委員会について
（9 月 20 日〈金〉） <澤井副会長>
次第は次のとおり。

▷ 60 周年検討・実行・編集委員会の開催日について

▷ 60 周年記念式典の内容等について

- (1) 第 10 ブロック（大阪市東部）の会長招待について

- (2) 記念品の内容と予算について

- (3) その他

▷記念誌について

- (1) 広告掲載募集について

- (2) 1 ページの文字の大きさについて

- (3) その他

（詳細 略）

5. 救急医療研修会について
（9 月 12 日〈木〉） <原田理事>
次第は次のとおり。

▷開会

▷講演

- (1) 「トリアージタッグ（大阪府医師会版）の使い方 ～大規模災害等に備えたトリアージの訓練～」

大阪府医師会救急・災害医療部委員
岸和田徳州会病院救命救急センター
部長 鍛冶 有登

- (2) 「最新の一次救命処置（BLS）

～いざという時に AED を正しく使えるか？～」

大阪府医師会救急・災害医療部三次
救急委員会 ACLS 大阪ワーキング
グループ委員

大阪府立中河内救命救急センター
副所長 岸本正文

▷閉会

（詳細 略）

6. 浪速区多職種連携研修会について

（8 月 31 日〈土〉） <橋村理事>

浪速区役所で開催し、参加者数は 74 名であった。

次第は次のとおり。

▷司会・趣旨説明

▷開会挨拶

▷共演者を代表して

▷「ブルーカードと地域医療連携について」
浪速区医師会 理事 久保田泰弘

▷「訪問歯科診療について」

浪速区歯科医師会 理事 米永徹朗

▷「薬剤師による在宅訪問」

浪速区薬剤師会 理事 杉浦丈仁

▷質疑応答

▷マップの説明

▷事例提示（1 例）

▷グループワーク事例検討

▷発表

▷まとめ

▷閉会の辞

（詳細 略）

7. 第 2 回浪速区地域包括支援センター運営

協議会について

(9月26日<木>) <橋村理事>

次第は次のとおり。

▷運営協議会委員、事務局紹介

▷評価のしくみ

▷議題

(1) 浪速区地域包括支援センター

(2) 浪速地域在宅サービスステーション

(3) 日本橋地域在宅サービスステーション

(4) 難波地域在宅サービスステーション

▷その他

(詳細 略)

8. 森本先生の叙勲を祝う会について

(9月7日<土>) <徳田理事>

スイスホテル南海大阪で開催された。参加者が155名あり盛会であった。

次第は次のとおり。

▷開会の辞

▷発起人大行挨拶

▷来賓祝辞

▷記念品並びに花束贈呈

▷受章者謝辞

▷乾杯

▷開宴

▷祝電披露

▷閉会の辞

(詳細 略)

9. 認知症地域医療支援研修会について

(9月19日<木>) <徳田理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷挨拶

▷説明 ～東部地域各医師会の認知症支援への取り組み～

▷講演会 タイトル 「認知症治療・BPSDの対応も含めて」

講師 くほりクリニック

院長 久堀 保

▷閉会

(詳細 略)

10. 医療問題研究委員会について

(9月11日<水>) <富永理事>

次のテーマに沿ってプレゼンテーション・意見交換を行った。

テーマ「病診連携と在宅医療」。

今回は、大阪市東南部／第10（大阪市東部）、第11（大阪市南部）ブロック合同チームとして、ブルーカードシステムについて発表した。

11. 救急医療情報交換会について

(9月4日<水>) <久保田理事>

昨年までは、愛染橋病院、富永病院、浪速生野病院、本会から担当者が出席し、浪速消防署にて情報交換会を行っていたが、個別に開催した。浪速消防署から2名、本会から5名出席し、ブルーカードや救急搬送について意見交換を行った。

12. 第1回患者プロファイル情報基盤研究会について

(9月16日<月>) <久保田理事>

岡山コンベンションセンターにて開催された。

次第は次のとおり。

▷患者プロファイル情報基盤の基本設計について

▷既存医療情報標準規格との整合性について

▷平成26年度文科省科研申請の研究計画について

(詳細 略)

13. 医療情報委員会について

(9月19日<木>) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷V P Nの業者選定について

▷その他

(詳細 略)

14. 府医医療情報委員会について

(9月25日<水>) <久保田理事>

次第は次のとおり。

- ▷開会
 - ▷報告事項
 - (1) 日医総研「IT を利用した全国地域医療連携の概況（2012 年度版）」について
 - (2) その他
 - ▷協議事項
 - (1) 諮問事項について「医療における IT 活用のあるべき姿について」
 - (2) 医療情報に関する講演会について
 - (3) その他
 - ▷次回日程
 - ▷閉会
- （詳細 略）

15. 第 4 回医療介護連携会議について
（9 月 26 日〈水〉） <久保田理事>
次第は次のとおり。

- ▷挨拶
 - ▷議題
 - (1) 機材貸し出しの件
 - (2) 対象患者確定
 - (3) 医療情報共有システム仕様変更について
 - (4) 検証スケジュール
 - ▷閉会
- （詳細 略）

16. 第 3 回浪速区健康展実行委員会について
（9 月 25 日〈水〉） <岡藤理事>
次第は次のとおり。

- ▷出展内容
 - ▷会場配置（案）について
 - ▷舞台タイムスケジュール（案）について
 - ▷必要物品について
 - ▷広報について
 - ▷前日、当日の準備についてタイムスケジュール
 - ▷その他
- （詳細 略）

17. 第 45 回病診連携委員会について
（7 月 29 日〈月〉） <金田理事>

次第は次のとおり。

- ▷第 44 回病診連携委員会報告について
 - ▷ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について
 - ▷病診連携委員会のアンケート結果について
 - ▷育和会記念病院の 1 次連携病院参加について
 - ▷ブルーカードの病名コードについて
 - ▷その他
 - (1) ブルーカード登録医を増やすために
 - (2) V P N への移行について
 - (3) 高知市医師会第 5 回オープンシステム病院連絡協議会について
 - (4) その他
- （詳細 略）

18. 大阪市中央エリア認知症支援関係者連絡会について

（8 月 29 日〈木〉） <桧山監事>
次第は次のとおり。

- ▷開会のあいさつ
 - ▷大阪市の認知症高齢者支援の取組みについて
 - ▷認知症対策連携強化事業について（報告）
 - ▷中央エリア認知症疾患医療センター（報告）
 - ▷認知症支援における多職種連携について～事例をふまえて～
 - ▷各区意見交換・情報交換
 - ▷最後のあいさつ
- （詳細 略）

19. その他
なし。

次回会議

平成 25 年 10 月 25 日〈金〉 午後 8 時～

9月度 学術講演会報告

日 時 9月28日〈土〉 午後2時
演 題 「電気の流れて理解する心電図
その4」
講 師 国立循環器病研究センター
循環動態制御部
室長 高木 洋 先生
出席者数 13名
共 催 興和創薬株式会社
情報提供 選択的 DPP-4 阻害剤 - 2型糖尿病
治療剤 - スイニー錠 100mg
担 当 富永良子

<前半の約 30 分間>

● 前回までの講義内容、特に QRS 電気軸、脚ブロックをどのように解釈するか、について心磁図で観察された実際の電気の流れを呈示しながら概説した（復習を兼ねて）。

・ 正常電気軸の成因（QRS の向きと T 波の向きの関係）

・ ① 左軸偏位をきたす状態・病態、② 右軸偏位をきたす状態・病態について、個々の場合に心電図変化が生じる機序を心磁図を呈示しながら説明した。

【左軸偏位】

横位心（水平位心）
左室肥大
左脚前枝ブロック
心筋梗塞（下壁）

【右軸偏位】

立位心（垂直位心）
右室肥大、肺性心
左脚後枝ブロック
心筋梗塞（側壁、前壁）

・ 左脚前枝ブロックと左脚後枝ブロックの臨床的意義

a. 左脚前枝ブロック：ただちに心疾患の存在を意味するものではないが、種々の器質的左室心筋障害に合併しやすいため、症例に応じた適切な経過観察が望ましい。

b. 左脚後枝ブロック：単独でみられることは極めてまれ（左脚後枝は、右脚、左脚前枝に比べて太いため、ブロックにはなりにくい）、ほとんどは完全左脚ブロックと合併し2枝ブロックとしてみられる。

<後半>

● 完全左脚ブロック、ならびに、慢性心不全における心室同期不全とそれに対する治療（心臓再同期療法 = 両室ペーシング）について概説した。

・ 完全左脚ブロック波形の特徴：心室期外収縮と同様に、QRS の向きと T 波の向きは逆向きとなる（特殊伝導系を介した心室興奮伝播、つまり正常な Narrow QRS 波形では同じ向きとなるが、これは脱分極は心内膜から心外膜側に進むが、再分極はその反対方向に進むことによる）。

・ 正常心では、特殊伝導系を介して心室全体に迅速な興奮伝播が生じるため、効率の良い収縮がなされる。

・ 不全心では、約 30% で心室内伝導障害が合併し、左室収縮のタイミングがずれるため、収縮は非効率的となり、収縮能の低下にいつそうの負担がかかることになる。多くは完全左脚ブロックの形を呈する。この場合、左室興奮は右室からの伝播で生じるため、心室中隔に比べ、左室の側壁側では収縮が遅れ、収縮効率低下（エネルギーの浪費）を招くことになり（心室収縮の同期不全）、心不全はさらに増悪する。

・ この心室同期不全に対する治療法として有効性が立証されているのが、心室再同期療法（両室ペーシング、Cardiac Resynchronization Therapy: CRT）であり、重症心不全の治療法として、臨床の現場では欠かせないものとなっている。

・ ただし、約 3 割の症例では CRT は無効で

あり、CRT の限界となっている。その効果予測（Responder か Non-Responder かを CRT 植込み前に予測）に有効な方法・指標は現時点では確立しておらず、症例間で CRT の有効性に差が生じる原因は不明である。

- ・同じ完全左脚ブロックを有する心不全患者でも、症例により左室内興奮伝播様式が異なることが心磁図解析で明らかとなってきた（左室内の興奮伝播が緩徐であっても、それが均一な伝播であれば CRT は有効）。完全左脚ブロックを呈する症例では、左室内で実際にどのような興奮伝播が起こっているかの詳細を心電図から推測することは不可能。



11 月度学術講演会のお知らせ

11 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成 25 年 11 月 16 日〈土〉

午後 2 時～ 4 時

場所：一般社団法人浪速区医師会 会議室

演題：「糖尿病患者における肥満治療の意義」

講師：国立循環器病研究センター

糖尿病・代謝内科

医長 横野 久士 先生

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします。

持田製薬主催 第 2 回浪速区高血圧・循環器フォーラム

日時：平成 25 年 11 月 30 日〈土〉

午後 3 時～ 4 時 30 分

場所：浪速区医師会館

【製品紹介】

「アテレック錠の最近の話題について」

持田製薬株式会社

【特別講演】

座長：医療法人満願会 有田医院

院長 有田 繁広先生

『CKD に対する降圧療法の再考』

—RAS 阻害薬偏重に対する警告—

演者：大阪府立急性期・総合医療センター

腎臓・高血圧内科

主任部長 林 晃正 先生

【ディスカッション】

The 60th anniversary

一般社団法人 浪速区医師会 創立60周年記念事業についてお知らせ

本会の創立60周年記念事業につきましては、去る9月初旬、会員各位あてご案内および「区医だより」8月号でお知らせいたしましたとおり、記念式典・祝賀会の開催と記念誌「60年の歩み」の発刊を予定しております。

改めて、記念式典・祝賀会の開催日、会場および記念誌の発刊についてご案内いたします。

記

1. 創立60周年記念式典・祝賀会について

開催日 平成26年1月18日（土）

式典 午後5時

祝賀会 午後6時

場 所 スイスホテル南海大阪 8階「浪華」の間

※ 当日は、配偶者の方の長年のご苦勞に報いる機会にしたいと考えております。
ご夫妻でのご出席をお待ちしております。

2. 記念誌「60年の歩み」発刊について

① すべての会員各位のご寄稿をお待ちしております。

ぜひご協力ください。

② 記念誌には、記念式典・祝賀会の模様や写真を載せた上で、発刊する予定です（26年7月頃発刊の予定）。

③ ご寄稿は、次の要領でお願いいたします。

▷テーマ 自由

▷字 数 800字以内（400字詰原稿用紙2枚以内）

▷本人写真 必ずご提供ください（式典・祝賀会の際に撮影も可能です）

▷原稿締切 11月30日（土）

▷原稿送付方法 原稿・写真画像はできるだけメールにてご送付ください

▷メールアドレス naniwakuishikai@isis.ocn.ne.jp

※ メールにて送付が困難な場合は、郵送でも結構です。本会までご郵送ください。

〒556-0005 浪速区日本橋5丁目21番15号

一般社団法人 浪速区医師会

浪速区医師会 活動の伝言板

平成 25 年 11 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三 歳 児 健 診

●保健福祉センター

11 月 28 日(木)午後 1 時 40 分～3 時 30 分

小児科 川田 信哉

眼 科 吉野 成泰

耳鼻科 中村 泰久

B C G 接 種

●保健福祉センター

11 月 21 日(木) 午後 2 時～3 時 30 分

本田 秀明・北村 栄作

急病診療所出務

●今里休日急病診療所

11 月 3 日(日) 10:00～17:00

佐井 吉永・橋村 直隆

●中央急病診療所

11 月 5 日(火) 深夜 22:00～30:00

藤吉 理夫

産業医健康相談窓口

●浪速区医師会

11 月 5 日(火) 14:00～16:00

菊井 祥二

11 月 15 日(金) 14:00～16:00

北村 栄作

浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。多数のみなさま方の参加をお待ちしております。(ときに時間変更される場合がありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲 碁 部 毎月第 1・3・5(土)
(川田信) pm 5:00～

大阪府医師協同組合からのお知らせ

すべての医師会員に持っていただくために、
医師協CARD(一般カード)の年会費を無料にしました。
ぜひお申込みください!

医師会員におすすめする5つのポイント

百貨店や書店で3～5%OFF、
ホテルのレストランで10%OFF
近畿圏はもちろん、全国にも広がる約300の加盟店で割引・還元があります。

とくとくポイントでさらにオトク
還元率は一般的なカードの約4倍!(組合員のみに)
医師協CARD加盟店でのご利用は「とくとくポイント」の対象になります。
組合員は約2.5%、賛助会員は約2.0%の返率ポイントでキャッシュバックされます。
※1ポイントに付する還元金額は年度により変動します。

例えば、「近畿圏 大阪店」で100,000円(税別)の商品をご購入された場合
カードご利用時還元金 5,000円
とくとくポイント還元金 2,375円
実還元金支出額 **¥92,625円**
※平成23年度還元率

法人カードで経費管理の明確化
福利厚生費、交際費など経費の管理が明確になります。

特典付きスイッチカードで便利
世界中のVISAカード加盟店に加え、医師協CARD加盟店の独自の特典・メリットが受けられます。

会員向け情報誌「医師協CARDニュース」や
「医師協CARD加盟店ガイド」を発行
利用できる加盟店は「医師協CARD加盟店ガイド」でご確認いただけます。
また最新情報は、年4回発行の「医師協CARDニュース」でお届けします。

大阪府医師協同組合 大阪府中央区上本町3丁目1番5号 TEL.06-6768-2653(購買2課) 詳しくは、「医師協CARD」のホームページをご覧ください。▶ <http://www.oseca.or.jp/card/>



あとがき

H.H

1週間前、台風26号が伊豆大島に甚大な被害をもたらしましたが、昨日からは清々しい秋の日和に恵まれています。しかし、この晴れ間は長く続きそうにありません。予報によると、西日本は明日から雨天が続き、3～4日後には、台風27号と28号が近づくとのこと。

この夏から、天候に恵まれず、釣りやゴルフなど屋外での予定がしばしば乱されました。

11月からは、本来の秋晴れが続くよう、願ってやみません。

来る12月浪速区医師会は創立60周年になります。今年の4月頃から医師会役員の方達は、記念式典、祝賀会、記念誌発行の準備の会議を頻繁に開催しておられます。

私が浪速区医師会に入会して、30・40・50周年の記念式典を経験しました。今回60周年で4回目になります。

記念式典は1月18日(土)ですが、今回はできるだけ、ご夫妻でご出席いただくことになりました。

記念誌発行の準備も進んでいます。会員全員の寄稿を予定しています。内容に規定は全くありません。800字以内の原稿を11月中に送付してください。



目次

	ページ
巻頭言	
子宮内膜症と卵巣がん 寺川 直樹	1
理事会報告(9月開催)	3
9月学術講演会報告 富永 良子	8
11月学術講演会のお知らせ	9
創立60周年記念事業についてお知らせ	10
浪速区医師会活動の伝言板	11
あとがき	12

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 中村泰久 橋村直隆
印刷所 株式会社 サジ